

# 代替医療

## 最新ガイド

最近、周りの人から「先生はなぜ補完代替医療を専門にしているのですか？」「変わってますねー」などと言われます。確かに、産婦人科の専門医だった私が、なぜ伝統医学、サプリメント、ハーブ、アロマセラピーなど現代西洋医学以外の分野に携わっているのでしょうか。それはハトムギと出会ったからです。

話は16年前にさかのぼります。石川県には風光明媚な能登半島があります。映画の釣りバカ日誌の舞台になったこともあり、魚がうまいことで有名な所。当時、私は能登の総合病院に一人医長で勤務していました。来る日も来る日も診療で息つく暇もないような日々を送っていました。もともと大学で難病を研究することを夢見ていた私は、いつかは最先端医学の研究をと思っていたわけです。



鈴木 信孝  
当時はおおらかなもので、まして食品でしたから、皆さん喜んで食べてくださいました。結果は我々の予想をはるかに上回るものでした。まさに、機能を持っている食品との遭遇だったわけです。

しかし、現実には想像を超えていました。日によっては一晩で子宮外妊娠の手術3例、帝王切開の手術2例、お産5例、さらに朝から約50人の外来、午後に手術、と周りの看護師さんは気を使って教えてくれなかったのですが、髪がみるみる薄くなったのもこのころでした。

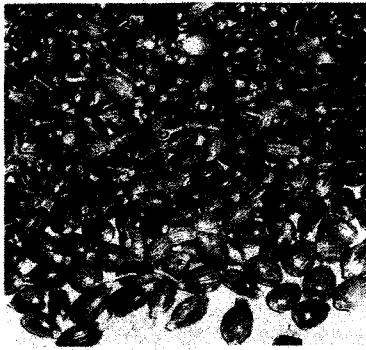
### きっかけはハトムギ

患に効果を発揮するのかわ道を求めたわけですが、このことが契機となり、我が国で初めて日本補完代替医療学会が設立され、補完代替医療の専門講座の設立へとつながっていったわけです。

今日でこのシリーズも最終回となるわけですが、そもそも補完代替医療は「自分の健康は自分で守る」という理念が基盤にあるものです。皆様の健康維持に大いにお役に立てるものと確信しています。  
(金沢大学補完代替医療学講座 座特任教授)

|| おわり

午後から手術予定だった婦人科の特殊な皮膚疾患のひとつが、きれいに治ってしまいました。2週間前であったあれほどひどい病変が消えるはずはない。当然、手術は取りやめにしたものの、



健康によいとされるハトムギ (鈴木信孝さん提供)